

= 保護者の皆様からいただいた貴重なご意見、ご感想の一部を紹介します。=

○熱中症対策についてです。どこかの県で、学校に冷凍庫が導入されたとニュースで見ました。児童が一番暑い時間帯に下校します。下校途中に倒れたというニュースもありました。暑さが昔と変わっている今、徒歩での通学、下校を安全に行えるよう、保冷グッズを保管できる冷凍庫の導入などがあればいいと思います。

→本校の児童数に対応できる冷凍庫の設置は、予算的にも今のところ難しいです。

○先週4日のプールの日に、足の裏を火傷してました。水ぶくれの手前で治まりましたが、対策をご検討お願い致します。

→大変申し訳ございませんでした。コンクリートには常に水をまくようにし、鉄板にマットを敷く対策を取りました。

○昨年より小学校前の信号を使用すると先生から怒られると聞きましたが何故でしょうか？

→通学路として決まっており、学校の前の信号機まで使用すると交通渋滞が起きてしまうからです。昨年度より学校前の信号機の変わるタイミングが警察により変更されたこともあり、学校前の信号機の使用は必要最低限にさせていただきました。

○毎日、タブレット分の重たい荷物を背負って帰っています。学校で十分に使っただき、家では目を休めてあげたいし、ほとんど使うことがないのに、なぜ毎日持ち帰らないといけないのか疑問に感じる。せめて高学年からで良いのではないのでしょうか。

→学年に応じて必要最小限の教科書やタブレットの持ち帰りを行い、児童の学習に効果的な活用や使用頻度等を今後も検討していきます。4年生以上は、充電器が家庭にあるため、基本的に毎日持ち帰りをしています。

○この他にも、教職員の働き方改革へのアイデアや、児童の思考力や書く力の低下へのご心配など様々な貴重なご意見をいただきました。今後の学校運営の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果の考察と今後の取組

- 児童、保護者ともに概ね肯定的な回答(「当てはまる」、「だいたい当てはまる」)が多く、「学校は楽しい」、「集中して学習に取り組む」「授業は分かりやすい」は、80%以上の児童が肯定的に回答している。さらに、「宿題をきちんとしている」「掃除や係の仕事を頑張っている」は90%以上の児童が肯定的に回答している。
- 「タブレットの操作ができる」については児童より保護者の方が肯定的な回答となった。
- 「スマホやゲームの約束」、「進んで体を動かす」は、十分とは言えない結果となった。
- 「読書習慣」についても十分とは言えず、児童、保護者ともに肯定的な回答が少ない。読書離れが進んでいる印象だが、朝の読み聞かせや昼休みの図書室の児童の様子からは読書好きの児童もたくさんいるように感じられる。さらに読書の魅力を伝えたり、読書習慣が定着したりするようなアプローチを工夫していきたい。
- 「地域との関わり」については、児童も保護者も肯定的な回答が昨年度同様に50%を切っている。学校目標である「ふるさと東岐波を愛し、夢の実現に向けて意欲的に学ぶ子どもの育成」をする上で、児童の成長には多様な人との関わりや様々な体験活動が大切になる。この結果を受け、よりいっそう地域と連携した教育を進めていくとともに、地域行事への参加も積極的に促していきたい。
- 「あいさつ」については、昨年度に比べてかなり児童の肯定的な回答が増えた。「にじあめちゃん」のあいさつ運動が効果的に働いていると思われる。小中合同のあいさつ運動も引き続き行っていきたい。
- 「思いやりの言葉遣い」については、児童の肯定的回答が増えている。2学期は人権教育参観日もあり、より一層自分の使っている言葉が人にやさしくあたたかいものとなっているかを意識できるようにしたい。自分は大切にされているという思い、自信が育まれるような言葉の環境をつくっていきたい。
- 「いじめ問題に積極的」についても、児童、保護者ともに肯定的な回答が多く本校の取組に理解をいただいていることがわかるが、今後も誰もが安心・安全で楽しい毎日が過ごせる教室、学校づくりに教職員一同尽力していきたい。

「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。このアンケートは「小中一貫教育グラウンドデザイン」と関連を図った設問にしています。今後も皆様から頂いた結果を参考に東岐波小学校・中学校が連携して、子ども達が健やかに成長していけるよう協働で取り組んでいきます。